

中京甲子園へ

第108回全国高校野球岐阜大会決勝

▷決勝 (28日・ぎふしん長良川球場)

中京	100	200	200	5
大垣日大	000	000	200	2



第108回全国高校野球選手権岐阜大会で優勝した中京ナイン＝岐阜市長良福光、ぎふしん長良川球場

大垣日大破り7年ぶり

第108回全国高校野球選手権岐阜大会最終日は28日、岐阜市のぎふしん長良川球場で決勝を行い、中京が大垣日大を5-2で破り、2019年以来7年ぶり8度目の夏の甲子園出場を決めた。

中京は1回戦で郡上に10-0の五回コールド発進を切ると、2回戦では多治見に13-0、3回戦では麗澤瑞浪に6-0で快勝した。準々決勝の岐阜聖徳戦で今大会初失点を喫するも、7-2の逆転勝ちで4強入り。準決勝ではノーシードの関商工に7-0で八回コールド勝ちを収めた。準決勝までの5試合でわずか2失点と、エース鈴木悠悟と西岡海心の快投が光った。打撃では主将角谷将を中心に切れ目のない打線で、高打率をマーク。決勝でも投打がかみ合い、参加67校62チームの頂点に立った。